

公共イメージ委員会

委員長	中村 信彦
所属委員会	IT: 中村真啓 (委員長)・大橋正和 (委員) 広報: 中村真啓 (委員長)・大橋正和 (委員) 雑誌・記録: 岡本耕至 (委員長)・佐古亮景 (委員)
基本方針	ロータリーのストーリーを一般社会の人々に伝え、クラブのプロジェクトや活動を広く知ってもらうための計画を作成、実行し、ロータリーの公共イメージと認知度の向上を目指す。公共イメージ委員会は広報委員会、IT委員会、雑誌記録委員会から成り立ち、各委員会をサポートし、目標を立て活動し、その進捗状況を管理・監督する。 また、他の委員会とも協力し、クラブの良好なイメージと充実した活動を目指していく。

自己紹介

2012.10.01	○	中村 信彦	○	59
------------	---	-------	---	----

2022-23 年度 職業分類 表D

職業分類		会員名
A	農業・林業	-
B	漁業	-
C	鉱業	-
D	建設業	建設業 中村 信彦

訪問記

第 22 回

龍野支部
泰成建設(株)
中村信彦 様



左から中村さん、横野さん、藤本さん

今回は、揖保郡太子町に泰成建設の中村信彦さんをお訪ねしました。

朝の忙しい時間にもかかわらず、笑顔で対応してくださいました。中村さんは、まだ30代のお若さで、専務取締役として、30名の社員を抱える同社の幅広い事業をまとめておられます。

同社の宅建業免許取得は平成9年ですが、お父様の代から、

30年近く宅地造成事業を中心に西播地区に実績を築いてこられました。そのお父様が平成6年末にご病気に。当時証券会社勤務の中村さんは、「父が病気になる、帰ってきてくれと言われて1カ月で退職して帰ってきたのですが、そのさなかに父は亡くなりました」と、大変な状況に直面されたそうです。

しかし、それを乗り越えられ、その後は、事業用借地権を利用した流通店舗の建設や、関西電力に協力してオール電化のマンションの分譲に成功する等、従来の事業に加えて、一工夫ある展開をされています。

また、中村さんは、現在、兵庫県地域ビジョン委員として、西播磨地区の街づくりについて不動産業の視点から提言しておられます。

その内容は、「今、活気を失っている商店街がありますが、店舗が空いた土地に地主が建物を建てて、



中村さん(左端)と営業部門の皆さん

県営住宅として県が借り上げる、さらに地域の不動産業者に、募集の受け付け、家賃回収や管理を任せ、商店街は高齢入居者に対するサービスを含んだ商売をすればというようなことを考えています」という非常に充実したものです。

他に、若年世帯向け県営住宅を郊外の廃校跡等に作り地域を活性化、家賃やローンの補助を充実させて入居や購入を促進するといった案も次々にあるようです。

こういった活動に至った一因として、「補助を得るためのマンション建設に難しい規制があったり、地域の観光開発等にも制約があったりと、仕事をやっていて壁にぶちあたるのが行政でした。ですから、そこを変えることが必要だと思ったわけ」とおっしゃり、民間主導型の地域づくりの重要性を強く実感されていることがわかりました。

取材の終わり近く、「うちは女性の営業がバシッとやっていますよ」と、同社の藤本かおりさんを紹介してくださいました。

早速お話を伺ったところ、もともとは設計の仕事がされていたそうです。そして、転職後、わずか数年で賃貸、売買から建設関係までのあらゆる営業をこなすように。現在は、係長として多忙な毎日をお過ごしおられます。

中村さん曰く「何も教えない、実地で勉強してもらう」という厳しさにも、「プレッシャーはありますが、お客様にお答えするために自分で調べてこそ頭に入りますから(藤本さん)と、息もひったりのようです。

今後の抱負をお聞きしたところ、「リフォーム関係の受注に力を入れていきたいですね」と、意欲的な答えをいただきました。

「女性は好きなことを好きなだけやるのが一番いい」という実体験に基づいたかのような(!?) 中村さんの信念のもとに、ますますパワーアップしそうな同社です。

西播から新しい風が吹いてきそうな予感でいっぱいになりました。

*兵庫県宅地建物協会 広報誌 刊